

科目名	隼人学	
担当者	◎岩橋 恵子 / 近藤 諭 / 小山 正俊 / 永里 紘二	
科目情報	教養科目1群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
	現地研修は、スクールバス・ツアーになります。	
科目概要	授業内容	隼人地域において守られ育まれてきた自然・社会・文化を、多角的かつ実践的な視点で知識を得るとともに考察します。今年度は、嘉例川・牧園・福山・垂水地区の地域産業に焦点をあてます（尚、ここでいう隼人地域とは、平和で豊かな文化を育てていた「隼人」と呼ばれる人々が暮らしていた南九州全体をさす広い意味で用います）。
	到達目標	身近な地域遺産を学ぶことで、地域そのもののもつ豊かさに気づくことができるようになる。 地域と産業の結びつきを理解できる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 隼人学を学ぶにあたって (2) エコミュージアムとまちづくり (3) エコミュージアムと地域産業 (4) 地域や風土に根付いた食と農 (5) 農的生活から考える生活文化様式 (6) 合鴨農法は革命的農法 (7) 現地研修（嘉例川・牧園） (8) 地域の恵みが持つポテンシャル（福山）1 (9) 地域の恵みが持つポテンシャル（福山）2 (10) 地域の恵みが持つポテンシャル（福山）3 (11) 親から子へ継承する起業 (12) 桜島の水が創り出す起業 (13) 地域産業～未来へ向かって～ (14) 現地研修（福山・垂水） (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げたテーマ・内容について、授業中に紹介する資料・文献・論文などで理解を深めること。
使用教材・参考文献	<p>【教】志學館大学生涯学習センター『農的生活のすすめ』南方新社、2007年 同 『地域が創る産業・産業が創る地域』（予定）南方新社2012年</p> <p>【参】志學館大学生涯学習センター・隼人町教育委員会編『隼人学―地域遺産を未来につなぐ―』南方新社、2004年</p>	
成績評価方法と基準	<p><基準>地域のもつ多様な豊かさと可能性を活かして創り出す産業のあり方への視座を獲得し表現できる。</p> <p><方法>授業中に課す小レポート40点、期末試験 60点</p>	
備考	<p>受講人数を50名に制限する。受講希望者は、学務課窓口での事前の履修申し込みが必要となる。</p> <p>教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味する。詳細は、初回の授業で説明する。</p>	